

舞鶴市市史編さん委員会 考古・古代・中世部会（第2回）議事要録

- 日 時：令和6年12月23日（月）14時～16時30分
- 場 所：舞鶴市役所本庁別館6階大会議室（市外委員2名はオンラインによる出席）
- 出席者：加藤部会長、廣瀬副部会長、石川委員、肥後委員、吉岡委員
- 舞鶴市：生涯学習部文化振興課（田中係長、石原）

次第

- 1 開会
- 2 協議事項
 - (1)資料編のテーマについて
 - (2)章立て等構成について
 - (3)執筆者等の推薦について
 - (4)その他
- 3 今後の予定等
- 4 閉会

《概要》

【協議事項】

(1)資料編のテーマについて

〔個別テーマに関する意見等〕

◎資料2の資料編（中世以前）テーマ等一覧（案）111項目について、各提案者から説明後個別に意見交換がなされた。協議結果は別紙のとおり。

〔全体を通しての意見等〕

- ・中世は文書が多いので、いかにビジュアルに見せるかが大切である。中世の遺構が、舞鶴は大俣城くらいしかない。
- ・山城の遠景の写真をいれるなど考える必要がある。
- ・考古は出土品などがあるが、中世は文書だけになると単調になるので、絵画や地図、一覧表などで少し目先を変えるなど工夫しないといけない。特に戦国時代は歴史的な戦いの話になり、肖像画はほとんどなく、ビジュアルに欠ける部分がある。
- ・単調にならないように、コラムみたいなものを入れていくことも大切である。
- ・このテーマ一覧については、私の方でまとめていきたい。

(2)章立て等構成について(3)執筆者等の推薦について(4)その他

〔主な意見〕

- ・まず廣瀬副部会長が一旦まとめられたものを、歴史的なものは私と廣瀬副部会長、考古と中世の遺跡は肥後委員と吉岡委員で見て絞っていけばよいと思う。章立てについては、考古と古代、中世あるいは中世前期、後期ぐらいで大きく通史的にまとめた方が無難である。節については、考古、古代、中世時代それぞれの中でまとまりを考えながら、1節から4節とか5節でもいいと思う。項目は多いとやはり節は多くなる。そこは廣瀬副部会長が原案を作ってもよいし、あるいは考古、古代は吉岡委員と肥後委員が、中世以降では吉岡委員と私がまと

めて、全体的なことを廣瀬副部長が監修していく方向で、章節立てはしていないと大変だと思う。

- ・石川委員のご提案のとおり、考古、古代、中世ともうあと1つぐらいに分け、その中で節を考えていく方向でよいか。
- ・考古が1章でなくても、1章に縄文時代、2章弥生時代、3章古墳時代など、いろいろつけ方はあると思う。近世編などとのバランスもあるのではないかな。
- ・近世以降は割と分野別になっている。時代別に近いのはこの編だけである。
- ・各編で考え方も違い、全部一緒に揃える必要もない。考古、古代、中世編はどういう方針のもとに章立てをしたのかを凡例に入れておけばよいと思う。
- ・章立てについては、私と吉岡委員でたたき台を検討するので、それを元にご協議いただきたい。執筆者について意見があればお願いしたい。
- ・今ここで決めるのは難しいと思うので、全体の項目を、吉岡委員または肥後委員、私か廣瀬副部長で一応入れておいていただいて、推薦の方もいたと思うので今後の調整としてはどうかと思う。
- ・肥後委員に、考古の前半の縄文、弥生あたりを中心にお世話になりたい。
- ・承知した。
- ・今日の協議した内容を整理してメールで送らせていただく。令和7年度と8年度で調査と執筆が終わっていないと、その次の年の発刊には間に合わない。2年間しかない。事務局の方で写真を撮り直したりするのは、来年の4月から始めないといけなないので、執筆者も含めてリクエストを出してほしい。そうしたスケジュール感になっていると思うので、よろしくお願いしたい。

【今後の予定等】

- ・次の会議は、いつ頃予定されているのか。
 - 事務局／今のところ、7年度当初ぐらいで日程調整ができればと考えている。
- ・それまでに書面でのやり取りを行い、年度明けに会議を開いて、どういう調査をするかを決めていくイメージでよいか。
 - 事務局／はい、その中で調査に関わる要望も受けていきたいと思う。
- ・事務局で見開きのイメージを作ってもらいたい。
 - 事務局／資料2については、本日いただいた意見を踏まえて整理し直して、会議までに何回かメールのやり取りをさせていただくほか、見開きのイメージも併行して調整させていただきたい。

以上